

光あふれ、風も輝く
原瀬小学校「学校だより」



風光

二本松市立原瀬小学校

No.7

2019年 9月10日

校長 大越 吾都臣

子ども達が笑顔で「学校が楽しい」「友達が好き」「勉強が面白い」と言える学校を目指しています。



【荀子】(じゆんし)
中国戦国時代末の思想家
・儒学者。

(紀元前313年?-紀元前238年以降)

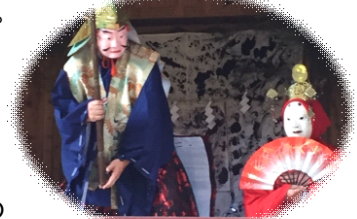
「功は舍めざるにあり」

この写真は、校長室に掲げられている書額です。「文部大臣 奥野誠亮 (おくのせいすけ:1972年~1974年在職)」とあるので、本校の100周年記念行事の際に掲げられたと推測できます。

これは中国の思想家「荀子」の言葉です。

「不積跬歩、無以至千里、騏驎一躍、不能十步、驚馬十駕、則亦及之、**功在不舎**、(荀子 勸学編 九) (一步一步を積まなければ、千里の道を行くことが出来ず足の速い名馬もひと飛びでは、十歩の距離も進めず、足の鈍い駄馬も十日の行程を費やせば、名馬の一日の行程に追いつくことができる。このようなことができるのは**不断に努力して途中でやめないからである。**)

「努力をコツコツと重ね、あきらめなければ最後には物事は立派に成就する。」といった意味になると思います。改めてその意味を考えると、子ども達へ伝えるにふさわしい言葉だと感じます。また、創立から146年、地域の方々の力によってこの原瀬小学校が支えられてきたものにも通じてきます。



伝統を引き継ぐ



8月24日(土)・25日(日)の2日間、原瀬諏訪神社で行われた「夏季例大祭」に参加させていただきました。派手な“今風”のお祭りではなく、脈々と大切に引き継がれた伝統と格式ある行事であることに感動を覚えました。神事後、神楽奉納と古式に倣って行われる様はあまり見たことがなく、ただただ見入ってしまい、

時間の経つのも忘れるほどでした。神楽の前に、巫女に扮した6年生の二人も舞いを奉納しました。その他、ギャラリーとして本校児童も



参加し、神楽の中で収穫を分ける(お菓子が振る舞われる)場面を楽しんでいました。

本校では毎年、地域の方々を講師に招き、この「原瀬太々神楽」を教えていただく学習を行います。そして機会あるごとにそれを披露するようにしています。



6年生は昨年習っているので、9月1日(日)二本松「龍泉寺」で行われた「寺フェス」で披露してきました。



まだ、「原瀬太々神楽」の十分な習得はできませんが、この経験を積むことで、自分が生まれ育った故郷を愛し、伝統を引き継いでいこうとする心が芽生えればと考えております。学習発表会でもご披露できるかと思っておりますので、ぜひ楽しみにしていただければと思います。



「個別懇談」お世話になりました。



9月2日(月)～5日(木)まで行われた「個別懇談」には、お忙しい中、学校まで足を運んでいただきありがとうございました。また、ご相談いただいたことを、今後の学級活動や生徒指導及び教育活動に生かしていきたいと思えます。この機会に限らず「困りごと、心配ごと、相談ごと」等ありましたらいつでもご連絡いただければと思います。

「個別相談」でも「ふくしま学力検査」の結果をもとに、「学習の仕方」についての話題になったと思いますが、さらに保護者の方々との共通理解を深めるために、以下の通りまとめてみました。

「ふくしま学力検査」は4、5、6学年で、国語と算数の2教科が実施されました。本校の全体的な傾向は、国語で県平均より少し低く、算数は県平均と同じかやや高い状況にあります。国語では特に「話すこと、聞くこと、書くこと」の領域がどの学年も平均を下回っています。この領域の力をつけるためには、学習したことを、普段の生活で生かすことが一番の方法だと考えます。そこで、学校でも授業での指導に加え、「教育活動全体を通して言語環境を整える」「図書館利用の活性化を図り、読書への興味・関心を高めると共に情報収集能力の育成を図る」「話を聞く、文章を読む人を意識し伝える、書く・話す機会を意図的に設ける」を行っていきたく考えています。ご家庭でも、学校との共通理解の上で立って、第1のステップとして、次の3つのことを実践してみてください。



1 お子さんの話をじっくり聞く時間をつくってください。

*目を見て、うなずきながら最後まで聞き、からかったり途中でさえぎったりしないでください。(だれが?いつ?なにを?なぜ?どのように?どう思った?などを意識しながら話をさせるとさらによいと思います。)

→「伝えようとする意欲」が高まり、話を聞いてもらえると「伝え方」が身につく始め、話し上手になります。さらに、聞き手を喜ばせようと表現力も豊かになります。

2 きまった時間にきまった時間だけ、集中して学習ができる場と時間と環境を与えてあげてください。(※勉強をやる習慣をつける。)

*家族みんなでテレビやスマホの電源を切り、勉強や読書、調べ物をするなど、大人が手本を示してみましよう。

*学習の「定着」を図るためには、個人ごとの整理、復習、繰り返しが大切な作業です。→生活のリズムができれば、習慣となり、集中力が身につく大きな要因になります。学習の量や質は、この習慣ができるようになってから改善してください。

3 お子さんの“努力”には共感し、「できたこと」をほめ、「できないこと」は励ましてあげてください。

*何でもかんでも「ほめる」のではなく、目標をもたせ、それが達成できた時はたくさんほめてください。「自尊心」が育てられます。

→「自尊心」が育てば、諦めない心が育ちます。励ましは、勇気を与え「別な手立ては無いか」とアイデアを生み出す発想力を育てます。



・・・これはあくまでも、土台づくりであり、すぐに学力が向上するわけではありません。しかし、その土台づくりができていないと「学力の定着」は難しいと考えます。この環境が整えられることで、次のもっと具体的で効果的な学習方法のアドバイスができると思います。

ぜひ「子ども達の活躍」をご覧ください!!

以下の行事は、保護者の方や地域の方も参加できる行事です。このような機会に、子ども達の活動の様子をご覧ください。

9/12(木)「祖父母参観」10:15～授業参観、「ふれ合い活動」11:15～グランドゴルフ
(※「校舎内での履き物」「水分補給のための飲み物」をご持参ください。)

9/19(木)「原瀬小学校 地区鼓笛パレード」14:00～パレード開始(原瀬小学校発)

9/26(木)「実馬を使った出張授業 馬はともだち、サラブレッドと親しもう!」10:20～
(※「JRA 日本中央競馬会」主催の出前授業)

10/19(土)「学習発表会」8:45～11:45 ※詳細については後日配布 ※10/21(月)繰休